

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	2	健康づくりを支える環境の整備

事業名	飼い犬登録事業	担当課名	環境課
-----	---------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生予防、蔓延防止及び撲滅することにより、公衆衛生の向上の増進を図ることを目的とする。

(事業概要等)

狂犬病予防法に基づく犬の登録及び予防注射接種の促進業務

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	459	472	707	1,032	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
新規飼い犬登録頭数	頭	137	198	187	200
予防注射頭数	頭	1,359	1,376	1,422	1,500

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

飼い犬登録で犬の管理を行い、狂犬病予防注射を促進することで、狂犬病の撲滅を行った。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	今までの窓口の受付から更に、令和3年度よりオンライン申請での受付も開始し市民の利便性の拡大を図った。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 狂犬病予防法に基づき、飼い犬の登録で犬の管理を行うとともに集合注射により狂犬病予防注射を促進することで、狂犬病の撲滅を図るため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	2	健康づくりを支える環境の整備

事業名	防疫事業	担当課名	環境課
-----	------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生を予防し、そのまん延防止を図り、公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とする。

(事業概要等)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生の予防、感染症のまん延の防止の推進を図るため、大阪府保健所及び医療対策課等の関係機関と連携し、衛生害虫の駆除を実施する。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,986	651	819	875	
うち市負担分(千円)	5,986	651	819	875	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
セアカコケグモ駆除回数	回数	30	20	31	30

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

衛生害虫の駆除を行い、感染症予防対策及び快適な生活環境の保全を図った。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 感染症予防法に基づき、感染症の蔓延を未然に防止するため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	1	公害防止対策の推進

事業名	公害測定事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
大気汚染防止法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・ダイオキシン類対策特別措置法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法・水道法等に基づき、工場及び事業場等から大気中・公共用水域に排出されるばい煙・排水・悪臭の排出を規制するとともに、地下水の水質及び土壌の汚濁の防止を図り、騒音・振動について必要な規制を行ない、生活環境を保全し、市民の健康の保護に資することを目的とする。
(事業概要等)
大気汚染防止法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・ダイオキシン類対策特別措置法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法・水道法等に基づく事業場立ち入り・指導・規制事務、及び大気分析、河川水分析、自動車騒音測定業務

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,072	2,682	3,674	5,645	
うち市負担分(千円)	0	0	0	1,782	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
測定調査数	種類	4	3	5	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業所規制における水質の行政検査を行うことで、水質汚濁防止を図った。河川の水質検査を行い、水質汚濁状況の経年変化を検証した。騒音の常時監視を行い、道路騒音状況の経年変化を検証した。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業所規制・指導事務については、公害関連法令に基づく事務であるとともに、大気、水質、騒音等の公害測定事業については、公害対策上基本的な指標となるものであり現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	4R推進事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、循環型社会の形成に向けて4Rに関する取り組みを推進し、ごみの排出抑制や更なる資源化を図る。

(事業概要等)

4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の推進に関する事業を実施する。  
 公共施設への給水スポットの設置、夏休みエコバスツアーの開催、啓発グッズやパンフレットの作成、ごみ分別アプリや出前講座等の実施により、ごみ分別・削減への意識啓発を図る。  
 また、ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」を活用し、環境美化活動の可視化と更なる活性化を図る。

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,510	2,563	2,276	3,009	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
エコバスツアー参加人数	人	28	0	0	30
ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」の新規利用アカウント数	人	16	13	9	20

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ごみの減量化を推進し、資源化に対する理解を深め、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図れた。  
 (令和2年度および3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、エコバスツアー事業は中止した。)

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成27年度から、夏休みに実施するエコバスツアーでは、リサイクル設備の見学場所は屋外であるため、見学時間を午後から午前に変更したが、毎年まったく同じ見学内容であるとの意見もあり、令和元年度から見学先を変更した。 平成30年度からは、ごみ分別アプリとごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」を導入した。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」の利用者が少ないため、利用者を増やすための取り組みが必要である。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進
事業名	ごみ減量機器購入助成事業	担当課名	環境課	

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から排出される生ごみの減量化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。

(事業概要等)

ごみ減量機器購入者に対し助成金を交付し、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進する。

(購入費用の3分の2以内、上限40,000円)

また、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	539	685	711	810	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
生ごみ処理機購入助成件数	件	16	24	28	30

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ごみ減量機器購入者に対し助成金等の交付を行うことで、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民に対してごみ減量の意識向上が図れた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	コンポスト購入助成については、数年助成金申請者がなく、一定の必要な対象にはいき渡ったため平成30年度より事業終了とした。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生ごみ処理機の購入ニーズがある限り、事業を継続する。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ減量化推進事業(地域環境基金活用事業)	担当課名	環境課
-----	---------------------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、家庭から出るごみの減量・分別、リサイクル意識の向上を図る。
(事業概要等)
家庭から出る可燃ごみについては、市の指定する有料の指定袋制とすることで、ごみの減量化に努めた。また、ごみの減量、分別、リサイクル意識の向上を図るため、適正に排出されていないごみについては、作製した注意シールを貼付するなどにより啓発を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	38,107	61,298	37,297	41,245	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
一般家庭ごみ(可燃ごみ)収集量	トン	10,551	10,675	10,610	10,600
一人一日あたりの可燃ごみ排出量	グラム	388	395	396	393
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
指定袋制を導入したことにより、ごみの減量に効果があった。 令和3年度の排出量は指定袋制導入前の平成21年度と比較して、約22パーセントの減量効果があった。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年12月より有料指定袋制を導入した。 平成28年4月より容器包装プラスチックの分別開始によって可燃ごみ量が減ると予測されることから、平成27年10月から7.5リットル袋を流通させた。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 有料指定袋制の導入によるごみの減量効果は維持できている。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市民が安心快適に生活が営めるよう、可燃ごみの適切な処理体制の充実を図る。

(事業概要等)

市内の一般家庭等から排出される可燃ごみの収集運搬業務を委託する。  
収集方法は戸別収集を原則とし、収集回数は週2回とする。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	272,997	271,937	273,866	282,847	
うち市負担分(千円)	272,997	271,937	273,866	282,847	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
一般家庭可燃ごみ収集量	トン	10,551	10,675	10,610	10,600
1日1人あたりの可燃ごみ排出量	グラム	388	395	396	393

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

本業務に精通しているごみ収集業者が確実に業務を実施したことで、生活環境の保全及び公衆衛生の維持に寄与できた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年12月から有料指定袋制を導入。 平成28年4月から容器包装プラスチックの分別収集を開始。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	プラスチック資源循環促進法の施行により、容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化が求められる。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 更なるごみ減量に対する意識啓発を図るとともに、プラスチック資源循環促進法に係る対応について検討する。
改革・改善策等の具体的内容	容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化については、受入先である泉北クリーンセンター並びに構成市である和泉市及び高石市との兼ね合いもあるため、今後協議を進めていく。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	資源ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、資源の再利用を推進するため、市民及び事業者に分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し、再資源化を図る。

(事業概要等)

かん、びん、せともの類、古紙類、ペットボトル、容器包装プラスチックの資源ごみの収集運搬を委託する。収集回数はかん、びん、せともの類は月2～3回、古紙類は月2回、ペットボトル、容器包装プラスチックは週1回とする。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	193,826	219,269	226,585	228,319	
うち市負担分(千円)	183,970	214,062	223,047	225,319	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
家庭系資源ごみの収集量	トン	2,500	2,509	2,497	2,500

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック、古紙等を回収することにより、資源の有効利用、リサイクルの推進が図れた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年9月から食品トレイの戸別収集を開始し、平成28年4月から容器包装プラスチック(食品トレイを含む。)の分別収集を開始した。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	プラスチック資源循環促進法の施行により、容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化が求められる。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 焼却ごみ量を減らし、再資源化を推進するため、分別収集の徹底を図るとともに、プラスチック資源循環促進法に係る対応について検討する。
改革・改善策等の具体的内容	容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化については、受入先である泉北クリーンセンター並びに構成市である和泉市及び高石市との兼ね合いもあるため、今後協議を進めていく。	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	小型家電リサイクル推進事業	担当課名	環境課
-----	---------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、小型家電の再資源化を促進するため、経済的インセンティブを働かせ、ごみの減量化や資源再利用を推進するとともに、排出者の利便性の向上を図る。

(事業概要等)

小型家電リサイクル法の認定事業者のうち、宅配便による戸別回収を実施する事業者に対し補助金を交付する。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	626	771	648	980	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
申込件数	件	860	1,261	1,086	1,069
申込箱数	箱	987	1,364	1,159	1,170
補助対象箱数	箱	894	1,102	925	974

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

これまでは、小型粗大ごみとして泉北クリーンセンターで処理されていたものが、認定事業者により資源化された。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度より、回収したパソコン・携帯電話から有用金属を取り出し、東京オリンピックのメダルをつくる「みんなのメダルプロジェクト」に賛同し、広報をおこなったことで、回収量が増加した(「みんなのメダルプロジェクト」については平成31年3月に終了した)。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 利用拡大に向けて、今後もサービスの周知に努める。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	食品ロス削減推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から発生する食品ロスを削減するため、講座等を開催し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発を図る。

(事業概要等)

エコや省エネに関する講座の実施、生ごみを出さない料理方法(食品ロス)などを学ぶ環境に優しい料理教室「エコクッキング教室」を開催する。

なお、講座の実施にあたっては、専門的な知識と技量を持った事業者に業務を委託する。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	267	282	0	77	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
参加人数(エコクッキング教室)	人	66	0	0	0
参加人数(食ロス講座)	人	-	-	-	60

(指標を設定できない理由)

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、エコクッキング教室事業を中止したため。

(成果の概要)

一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発が図れた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和3年度より、「エコクッキング事業」から「食品ロス削減推進事業」に移行し、食品ロス等のごみ問題やごみ減量に係る啓発に努める。
改革・改善策等の具体的内容	令和4年度は、小学生児童を対象に、カードゲームを用いて楽しみながら「食品ロス」について学ぶ講座を実施する。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	粗大ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、粗大ごみの有料収集を維持するとともに、電話等予約制により、粗大ごみの収集運搬を効率的に行う。

(事業概要等)

粗大ごみを排出する市民が、電話等で粗大ごみ申込センターに申込みをした際、排出者に収集日を通知し、申込センターで収集計画を立て、委託業者に連絡する業務を委託する。  
当該粗大ごみの収集および運搬についても業務委託とする。  
また、粗大ごみに貼付する粗大ごみ収集券を市内及び隣接市の取扱店での販売を委託する。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	36,626	40,333	40,463	41,366	
うち市負担分(千円)	27,056	28,933	29,498	30,716	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
粗大ごみ受付及び相談件数	件	10,353	11,347	10,620	10,773
粗大ごみ受付件数	件	9,520	11,230	10,515	10,422
インターネット受付件数の割合 (指標を設定できない理由)	件	1391(14.6)	2058(18.3%)	2144(20.3%)	2085(20.0)

(成果の概要)

効率よく収集でき、ごみが道路を長時間占拠することもなかった。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成13年度からは電話申込制とし、平成16年度からは粗大ごみの有料化を実施した。 受付システムは、平成28年度にプロポーザルで選定して更新を行い、5年の長期継続契約を締結した。また、小型粗大ごみとして収集していた小型家電について、H28年4月より、小型家電リサイクル法の認定事業者と連携した分別回収を開始した。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	小型家電リサイクル法の認定事業者との連携による回収については、インターネット申込が基本となるため、スマートフォンやパソコンの利用が難しい方はサービスの利用が困難である。
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 予約者宅のみを効率よく収集でき、ごみが道路を長時間占拠することもなかった。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	2	良好な市街地の整備

事業名	不法広告物撤去事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
屋外広告物法、大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持について、規制、指導、除去を行うことで、良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害防止を目的とする。
(事業概要等)
屋外広告物の規制・指導事務、不法屋外広告物の簡易除去業務

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,096	1,067	1,127	731	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
撤去広告物数	枚・本・基	91	72	55	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
広告物の規制及び撤去等により、撤去広告物数は、年々減少傾向にあり、良好な風致の形成及び危害防止に寄与している。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法令・条例等に基づき、景観の形成、風致の維持、公衆衛生上、現行どおり継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	有価物集団回収助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、ごみの分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し再資源化を図る。

(事業概要等)

集団回収実施団体が自主的に新聞、雑誌、ダンボール等の古紙を回収した場合に助成金の交付を行い、ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上を図る。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	16,565	14,111	13,849	25,000	
うち市負担分(千円)	11,832	10,079	9,892	16,000	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
集団回収量	トン	2,061	1,718	1,679	2,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上が図れた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	「地域環境基金」を活用し、平成23年度より回収基本金を5円/kgから7円/kgに引き上げた。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	広報紙、HP、出前講座等を通じ、新たな団体の登録を促すとともに、可能な限り集団回収に出してもらおうよう啓発を行う。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上が図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	し尿処理事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、公共下水道未接続及び未整備地区のし尿処理の充実を図り、また、災害時浸水に伴う、し尿の適正処理及び環境衛生の確保を図る。

(事業概要等)

公共下水道未接続、及び未整備地区において、一般家庭のし尿汲取り業務を行った許可業者に対し、補助金を交付する。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,778	6,769	6,574	7,570	
うち市負担分(千円)	4,778	6,769	6,574	7,570	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
収集量	kL	2,184	1,986	1,734	1,530

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

し尿の適正処理により、環境衛生の確保ができた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度より、収集人口の減少に伴い収集経費の割合が困難となってきたため、くみ取り補助金を300円から350円とし、令和2年度(5月)からは、350円から550円に引き上げた。令和4年度は、必要経費を勘案した定額補助に見直した。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 収集人口が減少するにつれ非効率な状況になっているが、費用面での業者の負担を改善した。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進
事業名	一般事務事業		担当課名	環境課

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市民が安心快適に生活が営めるよう、ごみ減量化及び資源化に係る総合調整を行い適切な企画の充実を図る。

(事業概要等)

ごみ及びし尿処理に関する相談、受付、苦情処理に係る業務のほか、ごみの収集計画、ごみ減量化対策及び資源化など総合企画調整に関する業務を行う。  
また、「ごみゼロ大作戦」や「スポGOMI大会」の運営など、ごみ拾い活動の啓発に関する業務を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,878	2,880	2,878	3,458	
うち市負担分(千円)	2,384	2,532	2,526	2,896	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
スポごみ大会の参加人数	人	120	44	100	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみ拾い活動の啓発を行い、まちをきれいにする意識と海洋漂着ごみ等のプラスチックごみの削減に係る意識の向上が図れた。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、ごみゼロ大作戦の市内一斉清掃を個別清掃に変更し実施した。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	ごみゼロ大作戦の参加者(団体)が固定化傾向にあることから、募集方法を検討する必要がある。 スポごみ大会については、実施エリアが同じ場所であることから再検討が必要である。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 海洋に流れ出すプラスチックごみの周知と、ごみ拾い活動をスポーツ競技として、楽しみながら参加できることで、海洋環境美化への意識の啓発を行うことができ、海洋漂着ごみやプラスチックごみの削減についての意識の向上を図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	環境保全対策事務事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可(鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に関する被害の防止を目的とする。)及び環境保全条例に基づく空き地の適正管理により、環境保全を図る。

(事業概要等)

鳥獣の飼養登録・捕獲許可事務等の環境保全事業

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11	16	107	86	
うち市負担分(千円)	0	0	41	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
鳥獣捕獲及び飼養許可件数	件	10	59	56	60
環境保全苦情処理件数	件	84	73	49	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可を行い、鳥獣保護を図った。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく事務、環境保全条例空き地の適正管理事務については、環境保全上現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	死獣収集事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、まちなみや景観美化、環境衛生の維持を図る。

(事業概要等)

市内道路など、公共の場所において放置されている飼主不明の動物死体を收容し、火葬場へ運搬する業務を委託する。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,429	4,737	4,511	4,511	
うち市負担分(千円)	4,312	4,404	4,406	4,406	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
回収頭数	頭	335	290	326	320

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

動物死体の迅速な収集処理が図れた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度末までは、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づく協定により業務委託していたが、平成30年度以降は市内の4業者の組合に随意契約により業務委託している。平成30年度から土日の収集も行えるよう委託内容を変更した。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 動物死体の迅速な収集処理が図れた。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	清掃分室維持管理事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、不法投棄への対応を通して、まちなみ・景観美化の維持を図る。
(事業概要等)
清掃活動団体の活動の支援、不法投棄の啓発や監視を行い、即時処理、苦情処理の対応を行う。 また、不適正排出があった場合には、原因者と思われる住民(または当該場所の周辺住民)に啓発を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	9,441	8,021	702	1,238	
うち市負担分(千円)	9,441	8,021	702	1,238	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
環境美化、不法投棄等ごみ収集量	トン	6	4	3	4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
衛生委員会、各清掃活動団体の環境美化活動の推進が図れた。 ごみ集積所の排出者のへの指導により、分別の推進が図れた。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 衛生委員会、各清掃活動団体の環境美化活動の推進が図れた。 ごみ集積所の排出者のへの指導により、分別の推進が図れた。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	団体等育成支援事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

衛生委員会・公衆浴場業生活衛生同業組合の活動を支援し、環境美化・公衆衛生の向上及び増進を図る。

(事業概要等)

公衆衛生の向上及び公衆浴場業の確保のための特別措置法に基づき公衆浴場生活衛生同業組合の支援を図るとともに環境美化、環境衛生の向上のため衛生委員会に対する支援を図る。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,020	1,047	926	1,126	
うち市負担分(千円)	1,020	1,047	926	1,126	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値	R04年度 目標値
補助金額	千円	862	862	862	862

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に寄与するとともに、環境啓発及び公衆衛生思想の普及に効果がある。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上を図るため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	中央公衆便所維持管理事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項に規定される公衆便所を大津神社境内に設置し、公衆衛生の維持を図る。
(事業概要等)
利用頻度の高い大津神社内の中央公衆便所を維持するため、光熱水費の支払いや清掃業務を委託し、清潔の維持を図る。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,035	1,359	1,910	935	
うち市負担分(千円)	1,035	1,075	1,040	935	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
利用者推計として、水道使用量	m <sup>3</sup>	225	119	103	220
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
利用しやすい公衆便所としての維持管理が図れた。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	大津神社から賃借した土地上に施設を設置しているため、土地賃借料は毎年協議を行っていたが、平成28年度より固定資産税の評価額に基づいて賃借料を算定することとした。 また、悪戯による破損被害の発生のため、付近2地点に防犯カメラを設置した。 令和3年度には、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から和式トイレを洋式トイレに変更した。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	洗面台の排水管の腐食が進んでいるなど、施設の老朽化が進んでいることから今後、修繕費が必要となる。
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公衆便所として、市内中央に位置し、バリアフリーであり利用頻度が高い。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	不法投棄防止啓発事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、家庭ごみの有料化に伴う不法投棄防止対策及び環境美化の推進を図る。

(事業概要等)

地域環境基金を活用し、市内全域において不法投棄監視パトロールを行う。  
また、啓発看板を設置することで、ごみの減量・分別への意識啓発及び不法投棄を抑止する。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,166	1,228	1,088	1,080	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
不法投棄パトロール報告件数	件	501	463	468	477
環境美化、不法投棄等ごみ収集量	トン	6	4	3	4

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

泉大津市衛生委員会に不法投棄監視パトロール業務を委託し、市内巡回パトロールを行うことで、違反ごみ、不法投棄ごみに対し、迅速に対応できた。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年度の可燃ごみ有料化時に、パトロールを強化するため地域の実態を把握している衛生委員会へ委託した。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 不法投棄を未然に防止するため、ごみの適正処理に係る更なる啓発に努める。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	雨水タンク購入助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、総合的な治水対策及び資源の有効利用の一環として、雨水の流出抑制と有効利用を図るため、雨水タンクを設置する者に対し補助金を交付する。

(事業概要等)

雨水の有効利用を図るため、自宅建物の雨どい等に雨水タンクを接続し、貯留した雨水を庭木への散水用として使用してもらうことで雨水の有効利用を図る。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	33	57	121	200	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
雨水タンク購入補助金交付件数	件	3	4	7	10

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

雨水タンクを設置する者に対して、補助金を交付することにより、総合的な治水対策及び資源の有効利用の促進を図った。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 雨水の流出抑制と有効利用を図るとともに、エコに対する環境意識の向上のため、継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	高効率エネルギーシステム設置助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化防止対策の一環として、市民の自主的な取組を積極的に支援し、環境への負荷の少ない循環型社会に変革する環境保全意識の高揚を図るため、高効率給湯器を設置する者に対し補助金を交付する。
(事業概要等)
地球温暖化防止対策のため、エコジョーズ、エコキュート及びエネファーム等の高効率給湯器の設置者に対して助成を行い、省エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図る。(エコジョーズ上限10,000円、エコキュート上限20,000円、エネファーム50,000円)

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,090	4,570	3,660	4,200	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
高効率給湯器設置補助金補助件数	件	136	179	153	176
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
高効率給湯器を設置する者に対して、補助金を交付することにより、温室効果ガス排出量の削減と環境保全意識の高揚を図った。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	補助対象機器の見直し(令和2年4月1日要綱改正)
--------	--------------------------

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策として、市民の環境意識の向上のために有効な施策であるため、現行通り継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	自転車活用促進事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子育て中の世帯に対し幼児2人同乗用自転車の購入助成を行うことで、子育て世帯にも安心安全な自転車の利用を促進し、環境に配慮するとともに子どもにやさしいまちづくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
幼児2人同乗用自転車の購入者に助成を行う。(補助率1/2、電動アシスト機能なし上限30,000円、電動アシスト機能あり上限45,000円)

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,273	2,858	3,225	4,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
幼児2人同乗用自転車購入助成金交付件数	件	77	66	74	93
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
幼児2人同乗用自転車の購入者に助成することで、子育て支援を行うとともに、自動車利用を抑制し、温室効果ガスの排出量の削減により、地球温暖化対策を図った。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度まで、自転車購入前に事前申込(年3回募集)が必要であったが、市民の利便性向上と事務の簡素化を図るため、令和4年度から購入後の事後申請(通年受付)とした。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	購入した年度内に申請することとなっているが、新年度が始まる前(2~3月)に購入する家庭も多く納品の遅れ等があれば手続きに時間的余裕がない場合がある。
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼児2人同乗用自転車の普及により、自動車利用を抑制することにより温室効果ガス排出量を削減するとともに、安全で子どもにやさしいまちづくりを推進していくため、現行どおり継続して実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球の保全

事業名	住宅用太陽光システム設置補助事業	担当課名	環境課
-----	------------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化防止対策を推進し、持続可能な低炭素社会を形成するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付することにより、本市における自然エネルギーの活用を促進するとともに、市民の自主的な環境保全に関する取組を支援することを目的とする。

(事業概要等)

地球温暖化防止対策のため、住宅用太陽光発電システム設置者に対して補助を行い、再生可能エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図る。(出力1kw当たり15,000円、上限90,000円)

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,383	3,135	2,280	3,000	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
住宅用太陽光発電システム設置補助金交付件数	件	37	43	29	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付することにより、再生可能エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図った。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策及び市民の環境意識の高揚を図るために有効な施策であるため、現行どおり継続して実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	新エネルギー導入促進事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

### 【事業の概要】

<p>(事業の目的・趣旨)</p> <p>身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、省エネルギー・再生可能エネルギーに対する理解と知識を深める機会として、環境教育やCOOL CHOICEアプリなどを通じ、市民や企業等に対して普及啓発を行い、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図ることを目的とする。</p> <p>(事業概要等)</p> <p>学童保育・就学前施設等での環境学習、WEBセミナー、アプリを活用した啓発等を通じて、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図る。また、これまでの本市の取組み、国の動向、法改正等を鑑み、2050年までの脱炭素社会の実現には再生エネルギーの利用が不可欠なことから、本市における再生可能性エネルギーに係る調査、脱炭素化に向けたロードマップの策定などを進め、環境基本計画へと反映させる。</p>
---

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,383	10,872	10,076	13,264	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
環境教育等実施回数	回	17	26	36	20
COOL CHOICEアプリダウンロード数	件	-	103	97	200
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
省エネ・再生可能エネルギーに対する理解と知識を深める機会として、環境教育やCOOL CHOICEアプリなどを通じ、市民や企業等に対して普及啓発を行うことにより、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図った。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	地球温暖化防止対策に資する啓発事業について、対面でのイベント等を主として展開してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、COOL CHOICEアプリの開発や、WEBを活用したセミナーや環境学習等、新しい手法での啓発を実施した。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	「2050年ゼロカーボンシティ」を実現するためには、省エネルギー・再生可能エネルギーに関する取組をさらに推進する必要がある。
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 一人でも多くの人に環境に対する意識の向上を図るため、地球温暖化防止対策の普及啓発活動を継続して実施していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	緑のカーテン推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、環境になるべく負荷のかけない緑のカーテンを各公共施設に設置することにより、地球温暖化防止対策の普及啓発を目的とする。

(事業概要等)

つる性植物を用いて緑のカーテンを設置することにより、植物自体の光合成及び室内温度の上昇を抑えエアコン等の使用時間の減少による温室効果ガスの排出量を削減することは、地球温暖化防止対策に有効であるため、各公共施設に設置し、市民に啓発を行い、各家庭での普及促進を図る。

### 【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	732	905	725	320	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
緑のカーテン設置箇所	箇所	15	21	18	10

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

緑のカーテンを各公共施設に設置することで、温室効果ガスの削減と市民の環境意識への啓発を行い、地球温暖化防止対策を図った。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	緑のカーテンの設置・撤収作業を業務委託していたが、令和4年度より、各公共施設へ苗・プランター等の物品を配布し、施設職員が設置することとした。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	設置・撤収作業業務委託を取りやめたことから、施設職員による設置等の作業が増えたため、設置箇所数の減少が見込まれる。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策及び環境教育に有効な手段であるため継続して実施していく必要があるが、設置箇所数の減少が見込まれるため、設置方法等について検討が必要となる。
	改革・改善策等の具体的内容	